



みのりと うるおいの郷 おだき

# おだき地区センターだより

令和5年2月22日(水)  
発行：江刺愛宕地区センター  
TEL&FAX 31-2411  
令和5年3月号



## 各専門部委員会日程のお知らせ

今年度の事業・決算報告と、新年度の事業計画・予算などについて協議する振興会各専門部委員会を下記のとおり地区センターで開催いたします。

集落の各専門部委員の方へは、ハガキでお知らせいたしますので、出席くださるようお願いいたします。

各専門部名	月日	時間
社会福祉部委員会	3月6日(月)	19時～
生涯学習部委員会	3月7日(火)	
保健衛生部委員会	3月8日(水)	
生活安全部委員会	3月9日(木)	
体育振興部委員会	3月10日(金)	

### 令和4年度江刺愛宕地区振興会 定期総会

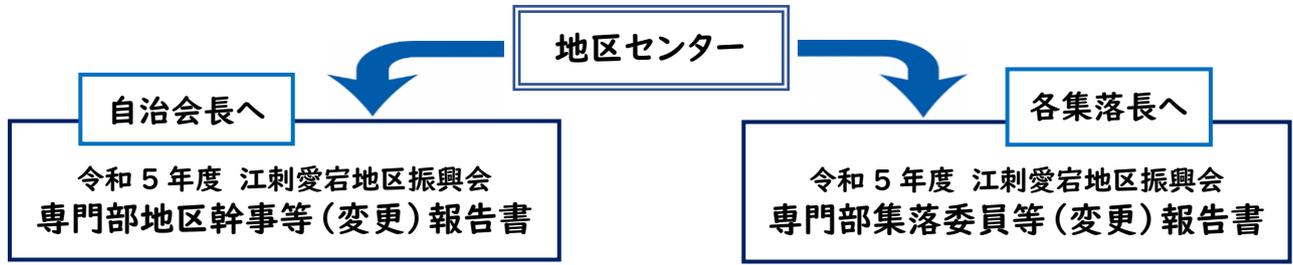
■日時 令和5年3月25日(土)  
10:00～

■場所 江刺愛宕地区センター 会議室

各集落評議員には、後日ハガキでご案内いたしますので、ご参集ください。

## 令和5年度 専門部地区幹事及び専門部集落委員等の報告書 提出のお願い

3月に入りましたら各自治会長へ【専門部地区幹事等(変更)報告書】、各小集落長へ【専門部集落委員等(変更)報告書】をそれぞれ郵送いたします。



■報告書の提出は、**3月24日(金)まで**に地区センターへお願いいたします。

### 奥州市地域ぐるみ防災セミナー代替事業 防災企画展

■日時 令和5年3月2日(木)～3月9日(木)まで

■会場 江刺総合支所 1階ロビー

■内容

- ・地域における防災取り組み事例の紹介  
→羽田地区における総合防災訓練の事例発表
- ・防災物品の展示  
(アルファ化米・液体ミルクを各数点展示 外)

### 春の全国火災予防運動が始まります

お出かけは マスク手洗い 火の用心

運動期間：令和5年3月1日(水)～7日

春は、空気が乾燥し火災が起こりやすい季節です。火の取り扱いには十分ご注意ください。

火災予防運動期間中、消防団・婦人消防協力会による地区内のパトロール及び火防点検を行います。

※運動期間中、午後6時にサイレンを吹鳴します。

#### 忘れていませんか？

#### 住宅用火災警報器の点検・交換

- 点検は定期的(年2回)に!
- 交換の目安は10年!

ダッキー

## ■3月の行事予定

日	曜日	行事名	時間	場所
1	水	燃えないごみ・プラ類のみ		
3	金	愛宕地区振興会決算監査	9:30~	地区センター
6	月	社会福祉部委員会	19:00~	地区センター
7	火	生涯学習部委員会		
8	水	保健衛生部委員会		
9	木	生活安全部委員会		
10	金	体育振興部委員会		
14	火	愛宕地区振興会役員会 江刺第一中学校 卒業式	13:30~	地区センター
15	水	リサイクル全品目		
17	金	江刺愛宕小学校 卒業式		
25	土	江刺愛宕地区振興会定期総会	10:00~	地区センター

## ■センター利用団体

団体名	利用日	団体名	利用日
ラージボールクラブ	6. 13. 20. 27	パッチワーク&手芸同好会	1. 15
E.D.S(月コース)	13. 20. 27	クルームアクト	1. 15. 22. 29
E.D.S(水コース)	1. 15. 22. 29	絵手紙同好会	2. 16. 23
E.D.S(金コース)	3. 17. 24. 31	下川原よさってクラブ	2. 16. 23. 30
翔の会	14. 28	〒4351岩手なるこ村	2. 16. 23. 30
体育振興部卓球部	14. 28	ヨガクラブ サヴァーアサナ	4. 18. 25
江刺 MJ クラブ	21		

お知らせ

### スプレー缶は 使い切り、穴を開けて廃棄を！

スプレー缶を廃棄する時は、次のことに気をつけて廃棄してください。

- ▶中身を全て使い切る
- ▶火の気のない風通しのよい屋外でガスを全て出す
- ▶缶に穴を開ける
- ▶燃えないごみに出す



適切な廃棄がされなかったことで、ごみ収集車両の火災が発生した事例もあります。重大な事故につながるよう、中身が入った状態では絶対にごみに出さないでください。

また、吹き出したガスや薬液などが自分の顔や体にかからないように注意してください。



東日本大震災からまもなく12年を迎えます。3月11日は、県条例で定められた『東日本大震災を語り継ぐ日』。

震災の記憶や教訓を風化させることなく、家族や身近な人と語り合い、これからの防災に繋げていくことが大切です。

まずは、家族で災害時の連絡方法や避難場所の確認、持ち出すものの準備を行うなど『自助』を高めていきましょう。そして、日ごろからご近所との繋がりを大事にしながら、もしもの時は声を掛け合って避難するなど、『共助』も高めておくことが重要です。

あの日に心を寄せながら防災について語りあってみませんか。

